

# 都市開発資金融通特別会計 平成17年度特別会計財務書類の概要

## 貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	23	27	4	未払費用	0	0	0
未収収益	0	0	0	借入金	119	83	△36
貸付金	340	302	△38	他会計繰戻未済金	248	248	0
				負債合計	367	332	△35
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	△2	△2	0
資産合計	364	329	△35	負債及び資産・負債差額合計	364	329	△35

## 業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
庁費等	0	0	0
その他の経費	0	0	0
支払利息	3	1	△2
本年度業務費用合計	3	1	△2

## 資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	△2	△2	0
本年度業務費用合計(A)	△3	△1	2
財源(自己収入)(B)	3	2	△1
本年度末資産・負債差額	△2	△2	0
(参考) (A) + (B)			

## 区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支(7)	72	65	△7
財務収支(1)	△49	△37	12
本年度収支(7+1)	23	27	4
翌年度歳入繰入	23	27	4
本年度末現金・預金残高	23	27	4

### 平成17年度について

資産合計は約350億円の減少、負債合計は約350億円の減少、資産・負債差額は約1億円の増加、業務費用は約11億円の減少となりました。

主な要因は、貸付金残高及び借入金残高の減少によるものです。

### 留意点

特になし

### 主な増減内容

- 貸借対照表  
 (資産) 貸付金残高の減 △384億円  
 (負債) 借入金残高の減 △358億円
- 業務費用計算書  
 支払利息の減 △11億円
- 資産・負債差額増減計算書  
 本年度業務費用合計と財源合計との差額(財源不足)  
 △1億円(上記(A) + (B)により算出)  
 ⇒企業会計の「当期純損失」に相当
- 区分別収支計算書  
 前年度剰余金受入 +38億円